



〇 南 建 第 7 1 7 号

平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

南山城村長 手 伸 圓 容



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました上記のことについて、
別紙のとおり提出します。

道路を利用するすべてのものにとって、安全で安心できる道路づくりが必要であり、地域や道路の性格を十分に取り入れた道路であることが真に必要な道路と考え、地域の声と全体を見据えた道路整備が必要であると考えます。

活力ある地域づくりを推進するため、地域間の連携促進を図る市町村道から高規格幹線道路に至るすべての道について道路の性格を考慮した道路網整備の必要性を強く感じます。

また、災害時における緊急輸送道路の重点整備は、近年起こりうると予測されている大規模地震に備えることが必要不可欠であると考えます。

地方の道路整備は遅れているのが現状であり、南山城村においては、真に必要な道路整備を推進する上で、これまで道路特定財源に加えて多額な村の一般財源を充当しているところであり、道路整備に対する国民のニーズは依然高いことを踏まえ、道路整備を強力に推進するために必要な道路整備財源の確保が必要であると考えます。

今後さらに、高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、その道路網の安全性及び耐久性を確保するための修繕等による道路ストック管理が必要であり、道路整備に要する財源確保を強く望むものです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

京都府南山城村

○現状

南山城村は、国道１６３号が村の中心を東西に位置しており、村民の生活には欠かせない道路であります。しかしながら、生活道路のみならず近畿圏と名古屋圏を結ぶ都市間交通・運輸流通の役割を担っているため交通量が多くまた大型車混入率が高い道路で、かつ、集落の中を通っているため例年交通事故が発生しています。

この道路を迂回できるルートもなく一度事故が発生すると交通渋滞を引き起こし、緊急車両等の通行にも支障をきたしております。

また、木津川と山林に囲まれた道路であるため、過去には大小の災害も発生しています。

本村から京都市内および京都北部地域への経路上で、渋滞箇所が多数あり、特に通勤時間帯においては、不測の時間を要している状態です。

○課題

国道１６３号におけるバイパス事業の促進は必要不可欠なものであり、平成１８年度に着手されました本村内における国道１６３号北大河原バイパス整備について強力に促進する必要があります。

また、バイパス区間外での歩道や改良整備が必要です。

京都市内での渋滞対策及び高速道路ネットワークの整備・促進が必要です。

②－１ 地域の現状と抱える課題

京都府南山城村

○現状

相楽郡東部地域は豊かな自然と文化が共存する地域で、全国的に知名度の高い宇治茶の主産地として産地の形成にも重要な地域であり、現在、相楽東部広域連合の設置により既存の町村域を越えた連携や交流を目指しているところです。

相楽東部地域を結ぶ主要地方道「宇治木屋線」や「国道１６３号」は、地形の厳しさなどから道路整備が遅れ、災害に対しても非常に脆弱であり、交通安全対策等未整備区間が多く、住民の日常生活にも深刻な影響を及ぼしています。

南山城村内を南北に延びる主要地方道の「府道上野南山城線」と一般地方道「府道月ヶ瀬今山線」については、村の南部地域及び奈良市月ヶ瀬並びに三重県伊賀市と国道１６３号を結ぶ地域の主要道路で、特に田山、高尾、今山地区については生活道路の起点として利用されており、本村の重要な幹線道路であります。

これらの府道は、曲線部分が多く集落内は特に幅員が狭く通行車両の大型化に伴い通勤・通学、歩行者の安全が脅かされている状況にあります。

また、生活道路以外に、高山ダムを中心とした水辺のレジャー・観光ルートとしても利用されており、特に行楽シーズンになりますと大型観光バス等も走行しており、部分的に離合困難な箇所があり通行上の大きな支障となっています。

○課題

相楽東部広域連合を設置による地域の振興、発展のため、主要地方道「宇治木屋線」や国道１６３号の整備促進を図っていく必要があります。

南山城村の南北軸である府道の整備は、通行の安全・安心確保、地域住民の生活に密着した事業として継続して京都府と連携した整備促進を図る必要があります。

○未来を創造する潤いにみちた元気むらをめざして ～暮らしを支える生活基盤の充実～

豊かな自然との調和を図りながら、南山城村独自の潤いのある環境整備を進める一方、生活道路網や情報基盤の整備を進め、集落が分断されがちな村に一体感を持たせるようにしていく。また周辺地域からのアクセス道路の整備を促進することで近隣市町との多様な交流・連携を強化し、ふれあいの輪が広がるむらづくりを進める。(南山城村第3次総合計画・平成14年3月)

◇総合的な交通体系の整備

道路網については、村の東西に伸びる国道163号、南北方向の主要地方道上野南山城線、一般府道月ヶ瀬今山線を軸に、村道116路線で構成されているが、国道と主要地方道を除いて改良率が低く、村民生活の利便性と安全性の確保、地域産業における活動基盤の確保のために一層の整備が必要である。厳しい財政状況のため村独自の事業推進では十分対応できないのが現状であるため、国の交付金事業等の採択を受け重要路線を中心に整備促進を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

京都府 南山城村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・大規模な地震、火災に強い国土づくり等 ・良好な生活空間・自然環境の形成	・国道１６３号道路新設改良事業 ・国道１６３号北大河原バイパス新設事業	・中心都市へのアクセス向上 流入人口増、定住化による過疎化の抑制 ・大規模災害発生時の代替道路機能 ・バイパス化による地域住民の安全性向上・生活環境向上、国道利用者の走行安全性の向上	